



株式会社大塚紙店



取組の ポイント



- 「常に人々の暮らしを支える紙を提供する」というビジョンをもって昭和7年に創業、洋紙を主体に、包装・梱包資材を多く取り扱っている、紙・紙製品卸売販売業。再生紙の取扱い比率は70%程度。
- 有害物質を含まない、使用後は土の中で分解される農業資材「カミマルチ」の取扱いを開始。これを原材料に「紙製の園芸用ポット」の商品化を目指し、試作中。一般消費者がSDGsに取り組める商品の提供を図る。

環境SDGs 取組内容

【化学物質等】

- ✓ 有害物質を含まない食品包装紙の推進を通じて食の安全を提案
- ✓ 使用後に土の中で分解、回収不要な「カミマルチ」の使用を推奨
- ✓ 「カミマルチ」を原材料に「紙製の園芸用ポット」の試作を進めている



【廃棄物・3Rの推進】

- ✓ 社内の断裁工程で発生する断裁くずを分別（1週間に約4トン）
- ✓ 古紙回収業者に販売し、再生紙にリサイクルされている



【生物多様性】

- ✓ 適正に管理・伐採された森林に由来する「FSC認証紙」の利用を促進
- ✓ 再生紙の販売を通じて、紙の循環的な生産・消費サイクルに関わる



【社会貢献活動】

- ✓ 商工会、法人会などの地域団体や、学校での事業説明の機会に、自社の環境SDGsの取組みや、紙産業のSDGsの動きを周知
- ✓ 自社Webで環境SDGsの取組み、紙とSDGsの関わりなどを周知



定着のための活動

- ✓ 代表取締役から、従業員に対してSDGsの必要性を説明し、環境SDGs取組に巻き込んでいる。
- ✓ 全員の名刺を環境に優しい紙に変更。（卵殻を漉き込んだ混抄紙）名刺を使うたびに従業員は環境問題を身近に感じ、取引先の環境意識にも刺激を与えていく。
- ✓ 従業員が発案した、有害物質を含まない紙を原材料にする商品づくりをテーマとして、経営革新計画を策定し、試作に取り組んでいる。
- ✓ 商工会、法人会などの地域団体や、学校で事業を説明する機会、自社Webなどで、自社の環境SDGsの取組みや、紙産業のSDGsの動きを周知していく。

■ 会社概要

- ✓ 住所：埼玉県比企郡小川町大塚108
- ✓ 事業概要：その他の卸売業（紙、紙製品等）
- ✓ 従業員数：18人
- ✓ 代表者：代表取締役社長 大塚 暁
- URL：https://ootsuka-kami.co.jp